

## 四月読みとりおけいこ②（中学年）

名前（ ）

今年のサクラは早くさいて早くちつてしまいましたね。なんでも観測<sup>かんそく</sup>しはじめて一ばんはやかったそうです。さて、今日はサクラの話をしてみましょう。

そもそも、サクラとは、田んぼの神様<sup>かみさま</sup>がやどるところといういみなのだそうです。日本全国、サクラのさく時期はちがっても、たいていどこの地方でも、サクラとともに米作りの用意がはじまるでしょう？

二年生のころにならったかもしれませんが、田うえ<sup>い</sup>米作りのはじまりではありません。まず、田んぼをたがやして、一方ではタネモミをまき、なえをつくらないといけません。そういったさぎようはサクラの花とともににはじまるというわけです。

そして、「お花見」といえば、サクラ。そう、「花」といえばサクラのことだったのです。今でも、花のもとで食<sup>の</sup>べたり、飲<sup>の</sup>んだりしていい気分になる花はサクラぐらいのものですね。

でも、うれしい反面、花がさくころにおそれられることもありました。それは、いろいろな病気など。むかしは花がさくのと同時に伝染病<sup>でんせんびょう</sup>などもはやるとされたので、今も今宮神社<sup>いまみやじんじや</sup>のやすらいまつりなど「伝染病しずめ」のいみを持つおまつりが全国各地にのこっています。

ところで、なぜ学校の門のあたりにサクラがうえられたかというと、明治時代のえいきようがあるそうです。パツとさきパツとちるすがたがいさぎよいというので、日本が大日本帝国<sup>だいにっぽんていこく</sup>といわれたころ、軍人<sup>ぐんじん</sup>さんの学校にうえられたのが広まったのだそうです。今はそのようないみはもうありませんが、むかしは軍人さんのためにうえたりもしていたのですね。音どくサイン↓

① なんの話ですか？

② そもそもサクラとはどういういみですか？

③ サクラがさきはじめると同時にしなければいけないさぎようを二つかきましょう。十点×2

④ むかし「花」といえばなんのことでしたか？

⑤ むかしサクラがさきはじめると同時に、やはりはじめると思われていたものはなんですか？

⑥ 伝染病しずめのいみをもつ代表的なおまつりはどのなんというおまつりですか？五点×2

⑦ 軍人さんはサクラのどんなようすをいさぎよいと思ったのですか？

⑧ あっている文に○をつけましょう。

（ ） サクラをすきな人は戦争<sup>せんそう</sup>がすきである。  
（ ） 沖縄よりも北海道のほうがサクラが早い。  
（ ） 田うえが米作りの始まりだ。  
（ ） お花見の花はふつうはサクラの花だ。  
上の文のかんそうを四行にまとめましょう。

できばえは？

